

9月度座談会

高橋殿御返事

* * 地区

背景と大意

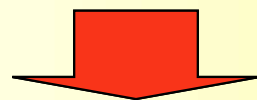
- 建治・弘安年間頃 於身延
- 与:高橋六郎兵衛入道と推定
- 別名:米穀御書
- 富士方面の中心的な弟子
- 地域に弘教を展開⇒法難の兆し
- 真心からの米穀供養に感謝
- 「其の国の仏法」地域広布を託す

御身に入りかはらせ給う

前段

- 弘教推進に「熱原の法難」の兆し
- 迫害の中、身延まで米穀を供養

真心からの米穀供養
広布の戦いを支える



釈迦・地涌の菩薩があなたの
身に入り代わったのでしょうか

其の国の仏法は・・・

其の国の仏法は貴辺に
まかせたてまつり候ぞ

- 其の国とは「我が地域」
- 地域広布の使命を弟子に託す
- 一人一人が地域広布の主体者

師弟不二で広布に立つ
地域広布の勝利は弟子が担う

仏種は縁に従って起る

- 縁が無ければ仏法に出会えない
- 多くの人との仏縁が仏種を開く
- 「一乗」とは「一仏乗」最高の仏法
- 「一乗を説く」とは仏法対話

一人でも多くの人と仏縁を結び
地域・世界の広布を推進

指導より

- 御本仏から地域広布を託された我々
- 地域広布は弟子の使命
- 下種結縁という縁がどれほど大切か
- 真心の一言一言が希望の種、幸福の種として友の心に植えられる

「体験」と「確信」を語り
「民衆勝利」の拡大を